

平成31年度

3年次(現2年次)  
商学部ゼミナールⅡ紹介誌

九州産業大学 商学部  
観光産業学科

# ゼミナールの履修について

## I. ゼミナールとは

- ゼミナールとは、指導教員の専門分野を少人数で学習する授業です。
- 具体的な学習内容は、プレゼンテーション、特定のテーマについての研究、専門書の輪読、グループ討論などです。ゼミナールによって学習内容は異なりますので、詳細はゼミナール紹介誌を読んでください。

## II. 2年次以降のゼミナール

- 2年次：ゼミナールⅠ（通年4単位）
- 3年次：ゼミナールⅡ（通年4単位）
- 4年次：卒業論文ゼミナール（通年8単位） or ゼミナールⅢ（通年4単位）

## III. ゼミナールの履修に関する注意事項

- ゼミナールⅠ、Ⅱは選考があるため、必ず希望するゼミナールに所属できるとは限りません。
- 4年次の卒業論文ゼミナール or ゼミナールⅢは、ゼミナールⅡの担当教員が受け持つことになっています。ゼミナールⅡの担当教員が4年次に卒業論文ゼミナール or ゼミナールⅢのどちらを開講するのかはゼミナールⅡの選考時にゼミナール紹介誌などで確認しておく必要があります。
- 卒業論文ゼミナール、ゼミナールⅢは、ゼミナールⅡの単位を取得しないと履修できません。
- 4年次の卒業論文の単位を取得するためには、決められた期間内に卒業論文を提出しなくてはなりません。
- ゼミナールⅠ、Ⅱ、Ⅲ、卒業論文ゼミナールは、商学科と観光産業学科の共通の科目なので、商学科の学生が観光産業学科のゼミナール、観光産業学科の学生が商学科のゼミナールを受講できます。また、商学部第一部と商学部第二部の間で他学部受講が認められています。

## ゼミナール募集説明会について

### I. 商学部ゼミナールⅡ募集全体説明会（観光産業学科科 現2年次）

- 開催日時：平成30年11月21日（水）12:20～12:50
- 開催場所：1号館1階 S101 教室

### II. 商学部ゼミナールⅡ募集個別説明会（場所：1号館6階演習室もしくは各研究室）

学科	教員名	11月26日		11月27日		11月28日		11月29日		11月30日	
		月		火		水		木		金	
		場所	時間	場所	時間	場所	時間	場所	時間	場所	時間
商学科	赤城	オフィスアワー（火・16:20～15:50）にS013にて対応									
	浅川	オフィスアワー（月・金 09:00～10:30）にS014にて対応									
	朝日	-	-	-	-	6階教室	昼休み	-	-	6階教室	昼休み
	菊池	-	-	-	-	N005	昼休み	-	-	-	-
	草野	N807	昼休み	-	-	N807	昼休み	-	-	-	-
	高木	N815	昼休み	-	-	-	-	-	-	-	-
	高山	-	-	-	-	-	-	N808	昼休み	-	-
	田中	-	-	S009	15:00～16:30	S009	10:30～12:00	-	-	-	-
	新田町	-	-	-	-	-	-	N822	昼休み	N822	昼休み
	原	オフィスアワー（月・13:00～14:30）にS011にて対応									
	平川	オフィスアワー（水・13:00～14:30）にS812にて対応									
	船岡	-	-	-	-	-	-	N805	昼休み	-	-
	俣	-	-	-	-	-	-	-	-	N608	14:20～14:35
	松尾	S010	昼休み	-	-	S010	昼休み	-	-	-	-
	三井	-	-	-	-	-	-	N811	10:40～12:10	-	-
	牟田	オフィスアワー（木・12:10～13:00）にS804にて対応									
	脇	-	-	6階教室	昼休み	-	-	-	-	-	-

学科	教員名	11月26日		11月27日		11月28日		11月29日		11月30日	
		月		火		水		木		金	
		場所	時間	場所	時間	場所	時間	場所	時間	場所	時間
観光産業学科	乾	N819	昼休み	N819	昼休み	-	-	-	-	N819	昼休み
	浦	S805 昼休み又は放課後									
	大方	オフィスアワー（月・12:15～50）にS801にて必要に応じて対応									
	片瀬	オフィスアワー（月・12:15～50）にN817にて必要に応じて対応									
	千	オフィスアワー（月・12:15～50）にS810にて必要に応じて対応									
	高橋	オフィスアワー（月・12:15～50）にS803にて必要に応じて対応									
	田代	オフィスアワー（月・12:15～50）にS813にて必要に応じて対応									
	平山	オフィスアワー（月・12:15～50）にN812にて必要に応じて対応									
	松笠	オフィスアワー（月・12:15～50）にN825にて必要に応じて対応									
	室岡	オフィスアワー（月・12:15～50）にS802にて必要に応じて対応									
森下	-	-	N802にて午後個別に随時対応								

## ゼミナール選考の流れ

### 【 1 次 募 集 】

#### ■ 11月26日(月)～30日(金)：ゼミ個別説明会と「選考詳細」掲示

- ゼミナール紹介誌をよく読んで、希望するゼミナールの個別説明会に参加して下さい。
- 選考についてゼミナール担当教員から個別に詳細な指示（「選考詳細」）がある場合は、11月26日以降、各教員の研究室の扉に掲示します。自分が希望するゼミナール担当教員の掲示を必ず確認して、その指示に従って下さい。

#### ■ 12月10日(月)～13日(木)：エントリーシート提出期間

- K's Life または 1号館 8階の地域共創学部事務室前（または渡り廊下）にある箱からエントリーシートを入手し、エントリーシートを作成して下さい。
- 12月10日に8階と10階の各教員の研究室の扉に「面接時間予約表」を掲示します。
- エントリーシートには、各教員の面接時間予約表に記載されている「面接時間予約番号」を必ず記載して提出して下さい。
- 作成したエントリーシートは、12月10日～13日の期間内に以下の場所に設置してあるエントリーシート投函箱へ提出して下さい。

1号館 8階 地域共創学部事務室前 受付時間 09:00～17:00

- 2つ以上のゼミナールにエントリーシートを提出した場合、すべて無効とします。このルールは2次・3次募集の時も適用します。

#### ■ 12月17日(月)～21日(金)：面接日と結果発表および2次募集の有無の発表

- 面接は上記の期間に教員の指示する方法で行われます。
- 1次選考の結果は、12月21日までに各教員の研究室の扉に掲示されます。同時に、その教員が2次募集を行うか否かが掲示されます。2次募集を希望する学生は教員が2次募集を行うか事前に確認しておいてください。

### 【 2 次 募 集 】

#### ■ 1月7日(月)～9日(水)：エントリーシート提出期間と「選考詳細」掲示

- K's Life または 1号館 8階の地域共創学部事務室前（または渡り廊下）にある箱からエントリーシートを入手し、エントリーシートを作成して下さい。
- 作成したエントリーシートは、1月7日～9日の期間内に以下の場所に設置してあるエントリーシート投函箱へ提出して下さい。

1号館 8階 地域共創学部事務室前 受付時間 09:00～17:00

- 選考についてゼミナール担当教員から個別に詳細な指示（「選考詳細」）がある場合は、1月7日以降、8階と10階の各教員の研究室の扉に掲示します。自分が希望するゼミナール担当教員の掲示を必ず確認して、その指示に従って下さい。
- 1月7日に8階と10階の各教員の研究室の扉に2次募集用「面接時間予約表」を掲示します。
- エントリーシートには、各教員の面接時間予約表に記載されている「面接時間予約番号」を必ず記載して提出して下さい。

#### ■ 1月10日(木)～12日(土)、16日(水)：面接日と結果発表および3次募集の有無の発表

- 面接は上記の期間に教員の指示する方法で行われます。
- 2次選考の結果は、1月17日までに教員の研究室の扉に掲示されます。同時に、その教員が3次募集を行うか否かが掲示されます。3次募集を希望する学生は、その希望するゼミナールの担当教員が3次募集を行うか事前に確認しておいてください。

## 【 3 次 募 集 】

※※※※※※※※※ 3次募集について ※※※※※※※※※

3次募集については、2次募集までの状況を判断して、臨機応変に対応します。そのため2次募集でもゼミが確定していない学生は、2次募集以降に発表される3次募集のアナウンスに十分に注意して、従ってください。

## ゼミナール選考の日程(1～2次募集まで)

11月・12月						
月	火	水	木	金	土	日
19 紹介誌配布	20	21 全体説明会	22	23	24	25
26 ←	27	28	29	30	12/1	2
個別ゼミ説明会(昼休み・任意) →						
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
← 1次E S提出 →						
17	18	19	20	21	22	23
← 1次面接(1次合格発表) →						
24	25	26	27	28	29	30
31	1/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
← 2次E S提出 → 2次面接 2次面接 2次面接						
14 成人の日	15 振替休業日	16 2次面接	17 2次面接 合格発表	18 臨時休業日	19 センター	20 センター
21 授業終了	22 定期試験開始					



平成31年度 商学部 観光産業学科 ゼミナールⅡ(新3年生)募集一覧表

「選考方法」について別途連絡事項がある場合は、平成30年11月26日(月)以降、各研究室の扉に掲示されます。

学科	氏名	選考方法	面接会場	その他連絡事項(持参物)等
観光産業学科	乾 弘幸	面接、エントリーシート、 成績(取得単位と成績等) ※(成績原簿のコピーは 必要ありません)	研究室	ゼミ応募に際しては、商学部統一エントリーシート提出前に必ず「乾ゼミナール募集要領」を見て下さい。 (研究室[N819]で配付します)そして、「オリジナル・エントリーシート」(商学部統一のエントリー・シートとは別に用意します)も配布します。指定日時までにN819研究室に提出して下さい。
観光産業学科	浦 達雄	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参
観光産業学科	大方 優子	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参
観光産業学科	片瀬 葉香	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参
観光産業学科	千 相哲	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参
観光産業学科	高橋 誠	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参
観光産業学科	田代 雅彦	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参
観光産業学科	平山 昇	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参
観光産業学科	松笠 裕之	面接・成績	研究室	応募者は、松笠ゼミナール専用応募者票を研究室にて配布します。必要事項を記入の上、期限(応募者票に記載)までに研究室に提出して下さい。面接の時間は研究室扉に掲示します。
観光産業学科	室岡 祐司	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参
観光産業学科	森下 俊一郎	面接・成績・エントリーシート	研究室	なし



# 目 次

## <商学部 観光産業学科 ゼミナールⅡ> (50音順)

➤ 乾 ゼミナール	1
➤ 浦 ゼミナール	2
➤ 大方 ゼミナール	3
➤ 片瀬 ゼミナール	4
➤ 千 ゼミナール	5
➤ 高橋 ゼミナール	6
➤ 田代 ゼミナール	7
➤ 平山 ゼミナール	8
➤ 松笠 ゼミナール	9
➤ 室岡 ゼミナール	10
➤ 森下 ゼミナール	11

## 乾ゼミナール II

### ◎演習テーマ

### 観光ビジネスの経営戦略・ホスピタリティ行動に関する研究

担当教員： 乾 弘幸

担当科目： 観光経営論入門、観光経営戦略論、ホスピタリティ・マネジメント  
エアライン・オペレーション、エアライン・キャリア開発

### 演習概要， 演習

- ゼミナールIに引き続き、プレゼンテーションを中心とした課題研究を行います。3年次の終盤からは実質的な就職活動準備も始まるので、グループ・ディスカッションや個人でのプレゼンテーションのためのスキルをさらに向上させることを目標とします。研究方法としては、観光ビジネスにこだわらず、それぞれがめざす業界の事例を研究し、来る就職活動の時期に「企業研究」として用いるように『実践的』な研究を行います。
- 学内や学外で開催される研究発表会や他のゼミとの交流発表会・各種イベントなどに積極的に参加し、このゼミナールで皆さんが得た多くの価値や成果を示してほしいと願っています。
- ゼミナールIで本ゼミナールを履修した学生はこれまでの1年間を振り返って、再度このゼミで自分を鍛えあげたいと思うのか、自問自答してエントリーして下さい。
- 新たに本ゼミナールを希望する学生は、現ゼミ生にどのようなゼミかを一度聞いてみて下さい。そしてあなたが魅力的に感じたらエントリーして下さい。歓迎します。『いまから、ここから』（相田みつお）、始めたいと思う気持ちがあなたを変えるのです。
- ★ このゼミナールが目指すのは徹底した『人間力』の養成です。将来の進路に直結する研究を基盤にして鍛え上げます。観光ビジネス(特にエアライン・旅行・ホテル)などへの進路を希望する学生は果敢に挑戦してもらいたいと願っています。
- ★ とくに、将来の進路として「エアライン(CA・GH・GS)」を目指している学生には、これまでエアライン関連のさまざまなプログラムに取り組み、多くのエアライン従事者を輩出してきたノウハウを用いて『夢を実現する』ための指導・サポートを徹底的に行います。

### 教科書・参考文献

特に使用しません。それぞれの研究に必要な文献や資料は適宜案内します。

### 履修しておくことが望ましい科目

観光経営戦略論、ホスピタリティ・マネジメント、エアライン関連科目など

### ★ 受講希望者への応募に関する注意事項：

ゼミ応募に際しては、商学部統一エントリーシート提出前に必ず「乾ゼミナール募集要領」を見て下さい。(研究室[N819]で配付します) そして、「オリジナル・エントリーシート」(商学部統一のエントリー・シートとは別に用意します)も配布します。指定日時までにN819研究室に提出して下さい。

### 4年次のゼミ形態

- ・ゼミナールIII

## 浦ゼミナールⅡ

### ◎演習テーマ

観光地域の観光資源(シンボル)に関する研究

担当教員：浦 達雄

担当科目：温泉地域基礎論、地誌学など

### 演習概要、演習計画

本ゼミナールでは、地域(出身地または現在の居住地、興味ある地域)の観光資源(シンボル)を調査し、レポート(ゼミ論)としてまとめる。

4月は、観光資源に関する調査方法、代表的な地域の観光資源を具体的に例示して学習する。調査と発表を繰り返して、成果としてまとめる。

スケジュールは、次の通り。

- (1) 4月：代表的観光地域の観光資源などについて講義を行う。
- (2) 4月末：調査地域の決定。
- (3) GWの課題：観光資源調査(地域の観光顕在資源ベスト10)を行う。
- (4) 5月～6月：地域の観光顕在資源ベスト10を発表する。
- (5) 6月の課題：観光資源調査(地域の観光潜在資源10)を行う。
- (6) 7月：地域の観光潜在資源10を発表する。
- (7) 夏休みの課題：観光資源調査(地域の観光顕在資源80)を行う。
- (8) 9月～10月：地域の観光顕在資源80を発表する。
- (9) 秋の課題：地域の観光コースの調査を行う。
- (10) 11月～12月：地域の観光コースを発表する。
- (11) 冬休みの課題：発表した内容をレポートとして整理する。
- (12) 1月：レポートの概要を発表・討論を行って提出する。

### 教科書・参考文献

特に無し。そのつど、指示する。

### 履修しておくことが望ましい科目

観光関連科目。

### 受講希望者への要望

無断欠席をしないこと。ゼミは真面目に取り組むこと。

### 4年次のゼミ形態

卒論ゼミ。

## 大方ゼミナールⅡ

### ◎演習テーマ

観光者の心理と行動

担当教員：大方 優子

担当科目：観光心理学、観光行動論、観光マーケティング論など

### 演習概要、演習計画

本ゼミナールでは、観光する人の心理や行動をテーマにグループ研究を行います。  
来年度は特に「好きなものを追いかける旅」というテーマで研究を予定しています。

近年、好きなアニメの舞台を訪れる「アニメ聖地巡礼」がブームになっていますが、アニメ以外にも、好きなアーティストやスポーツチームを追いかけて全国を旅する人たちなど、好きなもののためならどんなに遠くでも出かけていく！という人々が多くみられるようになってきました。このような、好きなものをきっかけに発生するファンの観光行動に着目し、これらを行う人々の実態や心理・行動の特徴について、実際に体験しながら研究していきます。「自分自身が好きなものを追いかけて旅している！」という方をはじめ、観光の心理や行動に関心のある方々のエントリーをお待ちしています。もちろん、上記以外のテーマでの研究も可能です。

研究の成果は、学外の研究会などで積極的に発表を行う予定です。これまでは、九州で観光を学ぶ大学生を対象とした研究論文大会や、韓国の大学で開催される大学生国際観光研究発表大会などで発表してきました。

なお、3年次でのグループ研究を踏まえ、4年次には各自で卒業論文に取り組みます。

### 教科書・参考文献

ゼミ時に適宜紹介します。

### 履修しておくことが望ましい科目

観光系科目全般

### 受講希望者への要望

2年次のゼミナールⅠとの関連はありませんので、2年次に他のゼミに所属していた人も全く問題ありません。質問などあれば、いつでも気軽に研究室（1号館8階S801）を訪ねてください。

### 4年次のゼミ形態

卒業論文ゼミナール

## 片瀬ゼミナールⅡ

### ◎演習テーマ

国際観光の基礎 (2)

担当教員：片瀬 葉香

担当科目：国際観光基礎論、世界遺産基礎論など

### 演習概要、演習計画

本ゼミナールでは、国境を越える人の移動に着目して、観光の持つ意味やその現状及び課題を把握するために必要な知識を修得しながら、受講生各自が訪れたいと思う国や地域の特徴について理解を深めることを目的とします。

人類は環境にどのように関わればいいのかという観点から、世界における文化や自然の多様性を概観しながら、観光の成立条件について話し合います。

今、地球上でどのくらいの人が「移動」しているのだろうか。古くから観光者を受け入れてきた場所には、どのような共通点があるのか。例えば、訪れたいと思う国や地域では、環境保全についてどのような取り組みが行われているのか。それは、「観光」との関わりにおいていかに説明されるのか。

受講生の皆さんには、通常の授業に加えて、ゼミ旅行や各種ゼミ会の企画・運営などを通じて、取り組みたいと思う研究テーマを見つけてほしいと思っています。

3年次の後期には、卒業研究計画書の作成に取り組み始める予定です。

### 教科書・参考文献

教科書・参考文献は指定しません。

### 履修しておくことが望ましい科目

必要に応じて指示します。

### 受講希望者への要望

外国や異文化に興味があり、国際観光について学びたいという意欲がある人を歓迎します。

### 4年次のゼミ形態

ゼミナールⅢ

## 千ゼミナールⅡ

### ◎演習テーマ

九州の国際観光の実践研究

担当教員：千 相 哲

担当科目：観光学入門、観光学基礎論、観光地域事業論（柳川）観光インターンシップ（長期）、国外観光研修B、日韓観光振興論、観光振興プロジェクト演習（志賀島）

### 演習概要，演習計画

このゼミでは、「東アジアの観光と九州のインバウンド」をテーマに九州観光とアジアを中心とする国際観光について研究する。

#### 【前期】

- ・九州の国際観光の現状について学ぶ。
- ・国際観光の事例研究（地域と国）と研究の視点について学ぶ。

#### 【後期】

- ・国際観光の活性化のための提案をまとめる。

ゼミの一環として、アンケート調査を行うための調査票の設計、パソコンを使った集計と基礎的な統計、調査報告書の執筆などの演習を行う。また、夏季ないし秋季の休業期間中には2～3日間の学年合同合宿（海外を含む）を行う。

このゼミを通して参加者が自主的に研究する能力、研究成果を他者に伝える能力、他者の見解を正しく受け止める能力、見解が異なる場合に理解の運びによって議論を戦わせることができる能力など、社会生活で要求される基礎・研究能力と意思疎通の能力を身につけることができる。

評価は、ゼミナールの活動（個人能力及び対人能力の向上）、レポートの完成度などを総合して行う。

募集人員は、10～15名とし、他学科からの参加は、観光産業学科の学生が募集人員に満たない場合のみ認める。

### 教科書・参考文献

授業中に適宜指示する。

### 履修しておくことが望ましい科目

観光関連科目

### 受講希望者への要望

自主的に学習し、自分の潜在能力を発見し、向上しようとする意識と意欲がある人を歓迎。

### 4年次のゼミ形態

- ・卒業論文ゼミナール（通年8単位）

## 高橋ゼミナール II

### ◎演習テーマ

観光地が鉄道事業者に求める施策を考える

担当教員：高橋 誠

担当科目：九州観光学・観光交通論・演習プロジェクト

### 演習概要，演習計画

- 本ゼミナールでは、地域の視点から「集客マシーン」である交通事業者に求める施策を考え、実現の為に何が必要かを考えます。
- 地域の要望は、往々にして「自己中心的」な要求となりがちですが、交通事業者の営業戦略を理解した上で適切な地域プランを設定すれば、実現できる可能性が高くなることを実践的に考えます。
- 「疑問を抱く → 調べる → 仮説を立てる → 検証する」のサイクルを繰り返し、実践的な考え方が身につくようになって欲しいと思います。
- 年に数回は企業や自治体の担当者を招き（または訪ね）、直接疑問をぶつける機会を設ける予定ですが、ゼミ参加者の習熟度によっては予定変更もあります。

### 教科書・参考文献

- ・特にありませんが、毎月1冊以上の関連図書を読むことをノルマとします。

### 履修しておくことが望ましい科目

- ・観光関連科目

### 受講希望者への要望

- ・発表や企業等の担当者との対話が多くなります。きちんとした会話ができることが条件です。

### 4年次のゼミ形態

- ・卒業論文ゼミナール（通年8単位）

## 田代ゼミナールⅡ

### ◎演習テーマ

### 観光地でのフィールドワークと成果発表、報告書の作成

担当教員：田代雅彦

担当科目：地域研究入門、地域産業基礎論、観光地理学入門、  
観光地理学、観光地域共創プロジェクト

### 演習概要、演習計画

- 本ゼミナールでは、観光地での現地調査を通じて、課題設定から、各種の調査分析等を行って、最終とりまとめまでの一連の流れを体得し、次年度以降および社会に出てからも独力で課題を設定し、ある程度の経済社会的な調査ができるようになることを目的とします。
- そのため、夏休み期間中に2泊3日程度のゼミ旅行（観光地調査、フィールドワーク）を行います。また、その成果をグループ研究発表会等にて発表することを目標とします。
- 前期は、まず全員で調査地域（ゼミ旅行先）を選定します。次に役割分担して以下の作業を実施します。(1)調査地域に関する文献、資料、統計の収集、分析、整理。(2)調査テーマの設定とアンケート調査票の作成。(3)ゼミ旅行の行程、スケジュールの作成、予約および現地調査の依頼等の準備。
- 夏休みのゼミ旅行は全員参加です。ゼミ旅行では、全員で来街者アンケートや関係者へのヒアリング調査等を実施します。なお現地でのフィールドワークの内容は、行先や調査テーマにより柔軟に変更します。もちろん旅行先での観光も重要なフィールドワークです。
- 後期は、事前調査や現地調査を通じて得られた成果を、役割分担して整理、分析してとりまとめ、11～12月のグループ研究発表会等で発表します。そして、最終的に調査報告書としてとりまとめます。
- なお、ゼミの内容は、多少変更する場合があります。

### 教科書・参考文献

二宮書店『詳解現代地図』

### 履修しておくことが望ましい科目

観光地理学入門、観光地理学、地域産業基礎論

### 受講希望者への要望

- 毎回ゼミに出席してくれる人で、ゼミの進行や他のゼミ生の学習意欲を妨げない人、何か質問されたら反応してくれる人を歓迎します。

### 4年次のゼミ形態

卒業論文



## 平山ゼミナールⅡ

### ◎演習テーマ

「島旅」にチャレンジしよう！

担当教員：平山 昇

担当科目：観光文化論、観光社会学など

### 演習概要、演習計画

皆さんは「島」に行ったことはありますか？

島には都会のような便利さはありません。また、進学・就職で若者が島を出て行って高齢化が進むなど、日本全体が直面しつつある問題が多く島の深刻化しています(住民がいない無人島になってしまうことも！)。

一方で、自然や人情とのふれあい、新鮮な魚や野菜など、島独特の魅力もたくさんあります! 「島」をフィールドにすることで、「地域」が抱える問題について、そして、「島旅」の魅力と可能性について、一緒に考えてみませんか？

★土曜・休日を利用した「島旅フィールドワーク」を数回実施します。交通費など多少の費用負担があります(ただし、最初の2回ほどは「島旅入門編」として比較的近いところにある島に日帰り～1泊程度で行く予定ですので、費用はさほど高額にはなりません)。費用や日程を検討することも重要なゼミ活動です。

### 教科書・参考文献

ゼミ開講後に随時指示します。

### 履修しておくことが望ましい科目

とくに無し。

### 受講希望者への要望

学外研修を必ず実施するため、ドタキャンは厳禁です。予定されたスケジュールを必ず実施できる学生であることが最低必要条件です。

### 4年次のゼミ形態

卒業論文ゼミナール

## 松笠ゼミナールⅡ

### 演習テーマ

観光産業における人的資源開発・組織開発

担当教員：松笠 裕之

担当科目：ホテル経営論、宿泊産業論、観光人材開発論

### 演習概要、演習計画

ゼミナールⅠを通じて習得した知識とフレームワークをもとに観光産業や他の産業の具体的な企業や組織を取り上げ、フィールドワークを行う。それぞれの企業では、ホスピタリティ・マインドをどのように醸成しているか、人材をどのように育成しているか、また、ホスピタリティをどのように組織として実践し、他と差別化し、競争優位に結びつけているかなど各グループでテーマを決めて調査を行い、その結果を人的資源管理及び組織行動の理論に基づいて分析を行う。

その成果は、大学合同研究発表会(日経 BP マーケティング主催 西日本インカレ)で報告する。

ゼミナール活動を通じて、論理的に物事を考え、ホスピタリティ・マインドを常に実践し、社会人として実社会で即戦力として活躍できるような質の高い人材を育成することを目的とする。具体的には、企業活動の中で必要とされるマナー、バイリンガルな文章能力及び対人コミュニケーション能力、高度なプレゼンテーション能力、グローバル感覚、マネジメント能力を実践的に身につけることを目標とする。

コミュニケーション活動の一環として様々なイベントやゼミ旅行などを率先して企画するなど「ゼミナール」という組織のモチベーションをあげ、構成員であるゼミ生個々の能力を最大限引き出すこともこのゼミナールの大きなテーマの一つである。

### 教科書・参考文献

特に使用しない。ゼミナールの中で適宜紹介する。

### 履修しておくことが望ましい科目

ホスピタリティ入門、ホスピタリティ実践論、宿泊産業論、ホテル経営論、観光人材開発論

### 受講希望者への要望

本ゼミナールで、学生時代に「この能力を身につけた」と目に見えるもの(例えば、語学、資格などの具体的な成果)や組織の中で必要とされる人材となるための基礎的な力(マネジメント能力、コミュニケーション能力など)を身につけて卒業してほしい。

それに対するサポート並びに就職活動に関するアドバイスも行います。

あとは、各自の自覚とやる気です。

希望者は、事前に松笠ゼミナール専用応募者票を研究室(N825)にて配布しますので、記入の上、指定期日までに提出して下さい。面接時間は研究室前に掲示します。

### 4年次のゼミ形態

ゼミナールⅢ

## 室岡ゼミナール II

### ◎演習テーマ

### 「地域連携」による観光振興と旅行業の役割

担当教員：室岡 祐司

担当科目：旅行業基礎論、旅行業経営論、観光プロデュース論  
観光産業論

### 演習概要・演習計画

日本は「観光立国」の実現へ向け、「観光」を切り口とした交流人口拡大や観光まちづくりによる地域の活性化を進めています。そのキーワードは「住んでよし、訪れてよし」。住みよく、誇り（国・地域の光）ある地域は、訪れたい観光地でもあり、そこには産業（民間）、行政、大学、地域住民等の「地域連携」が欠かせません。当ゼミナールでは、「地域連携」による観光振興・地域活性化をテーマに、九州や全国での取り組み事例を研究します。また、観光振興の中心的役割を担うべき旅行業についても研究対象としています。

#### 【演習計画】

- ① 国内外の観光振興・地域活性化の事例について多くの情報を収集します。
- ② 最終的に調査する地域や旅行業の取り組みを絞り、情報収集、調査、提案、発表までの一連の研究に取り組みます。年度末に外部講師をお呼びし、2～4年生合同のゼミ研究発表会を行っています。
- ③ 研究発表は、学内のみならず、学外の旅行企画コンテストや大学生論文発表大会へ、学生と協議の上、積極的に参加しています。
- ④ その他、自治体や大手旅行会社が取り組む観光・地域活性化事業の視察や調査、モニターツアー参加等、事業との連動・連携も都度協議の上、検討します。
- ⑤ 懇親会（2～4年生合同）を学内で毎年5・10・2月に実施しています（費用負担500円程度）。

#### 【これまでのゼミIIでの研究対象・テーマ（抜粋）】

- (2018) 長崎市の滞在促進・消費拡大への提案（長崎観光コンベンション協会との連携調査）
- (2018) バルウォーク福岡の現状と課題（日本観光研究学会大学生論文大会）
- (2018) 北九州市企業視察（バスツアーの実施）と若者雇用促進へ向けた課題の提案
- (2018) 大学生まちづくりコンテスト in 長崎最終選考プレゼン（壱岐まちあるき）
- (2018) JATA九州支部旅行企画コンテスト最終選考プレゼン（フランス人×天草）
- (2018) 海外旅行促進へ向けた香椎祭イベント・事前セミナーの実施（日本旅行業協会九州支部・福岡市空港利活用促進協議会、韓国企業ハンファグループとの連携）
- (2017) 「かしいかえん」のインバウンド誘致に向けた調査・提案（企業との連携調査）
- (2017) 東京オリンピック・パラリンピックと有機野菜（日本観光研究学会大学生論文大会）
- (2017) 大学生まちづくりコンテスト in 大分最終選考プレゼン（臼杵市の有機野菜）
- (2016) 嘉麻市観光動向調査（現地調査参加）及び小学校跡再利用に関する調査・企画検討
- (2016) 熊本地震が九州観光に与える影響（文献調査）

### 教科書・参考文献

- 観光振興・地域活性化の取り組み事例についての資料をその都度渡します。

### 履修しておくことが望ましい科目

- 旅行業基礎論、旅行業経営論、観光プロデュース論、観光産業論、観光関連科目全般

### 受講希望者への要望

- 学外と連携した実践型ゼミ活動に興味がある人、旅行が好きな人、地域活性化に興味がある人、新しいことにチャレンジし、粘り強く前向きに取り組む意欲がある人を歓迎します。

### 4年次のゼミ形態

- 卒業論文ゼミナール

## 森下ゼミナールⅡ

### 演習テーマ

### 顧客サービス・マネジメントの研究

担当教員：森下 俊一郎

担当科目：サービス産業論、経営学基礎論、  
サービスマネジメント、マーケティング論

### 演習概要、演習計画

サービス産業のマーケティングやマネジメントなど就活や社会人になって役立つ実践的な知識が得られるようグループワークを通じながら調査方法や研究の基本を学びます。ゼミは、課題の設定→先行研究レビュー→調査方法の選定→調査→結果のまとめ→考察→成果発表(プレゼン・論文)の手順で段階的に着実に進めます。後期からは就活に向けた準備も並行して行います。

ゼミの特徴は”自由”、”効率”、”自主”です。

#### 1. 自由

研究テーマや調査対象はグループで自由に決めます(テーマを決める方法は教えます)。課外イベントなどの参加も任意にしています。



#### 2. 効率

限られたゼミの時間の中で成果が出せるよう、プロジェクト・マネジメントという手法を使い、集中して効率的にゼミ活動を進めます。

#### 3. 自主

通常のゼミ活動の他、BBQ、菓子パ・ピザパ、茶会・焼肉会、ランチ、他学年交流会、ゼミ旅行・合宿などの課外イベントも、メンバーが自主的に進めています☆多

なごやかながら、やるべきことは時間内にきっちりやる、めりはりを大事にしています。調査・研究やイベントをみんなで楽しみながら、それぞれ自分のペースでゆっくり成長する居心地の良いゼミを共に創りたいです。部活・サークル、資格、留学・語学、バイト、就活、教職などと両立している人が多いです。それぞれの夢や目標に向かってがんばる人をみんなで応援する雰囲気があります。そうした目標を探しながら、積極的にゼミをリードしてくれる人も歓迎します。

### 教科書・参考文献

なし(プリントや資料を配布します)

### 履修しておくことが望ましい科目

経営学基礎論、サービス産業論、マーケティング論

### 受講希望者への要望

ゼミⅡから入った人も皆仲良く様々な活動と両立しながら活動しています。忙しい、だけど、ゼミもみんなでがんばりたい、そんなあなたにおすすめです。

### 4年次のゼミ形態

### ゼミナールⅢ